

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.17 20:00~21:45)

会場(東本梅町ふれあいセンター)

テーマ(東本梅町のまちづくりについて)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	保育所がなくなると若い世代が住まなくなる。東本梅保育所を存続してほしい。亀岡市全域から児童を受け入れてはどうか。		環境厚生	○		
2	以前から保育所統合の話があった。保育所がなくなると生活を圧迫する。適正規模とは何をもって判断するのか。市も園児数を増やす努力をしてほしい。保護者会でも保育所の魅力を発信したいと考えている。広域入所等についても考えてほしい。		環境厚生	○		
3	本梅保育所には駐車場用地が無く送迎も大変である。駐車場やグラウンドを整備し、通いたいと思えるような園をつくる統合であれば地域の未来が見える。人数が少ないというだけの理由での統合では未来が見えない。	皆さんが住むまちを、どうしていきたいかについて、地域でまとめていただければと思う。これまで、まちづくりを行政に任せてきたところがある。今後は、予算も限られ、人口も減少していることから、地域全体で取組むことが必要だと考える。農地、山、人の和をまちの財産として、生かしていただきたい。	環境厚生	○		
4	空き家バンクについて、費用がかかることなどから登録していない人が多いと思う。助成金などの対策を考えてほしい。	東本梅町には魅力があり、若い人たちが住む要素がある。新規就農と空き家バンクを活用して、まちづくりをしていってはどうかと考える。活用できない様々な課題もあると思うが、地域で話し合い、解決しながら取組んでいきたい。	総務文教	○		
5	保育所がどうすれば存続できるのかは東本梅町の町民も考えないといけないが、亀岡市としてもどうすれば若い人が増え、存続できるのかを考えてほしい。もう少し時間的な猶予が必要である。		環境厚生	○		
6	東本梅町としては町おこしの関わりの中で知恵を絞っている。しかし、保育所はまちおこしのためにあるわけではない。まちおこしとは別に保育園問題を考えてほしい。	公立保育所は、民間ができないところをカバーしていくべきだと思う。人数が少ないから統合ということではなく、増やすためにはどうすればよいかを考えていくべきである。	環境厚生	○		
7	第4次亀岡市総合計画と今回の統廃合方針は逆方向ではないか。将来を担う子どもをどう育てていくかを考えていかなければ、周辺部から急速に廃れていくと思う。	保育所を存続することについては、亀岡市がこの地域でどのように子どもたちを育むのかという点と、どのように人口を増やしていくかという点にかかっている。保護者、地域の声を市がどう受け止めるかが一番重要である。地域の皆さんの声を、大きくしていくことが必要だと考える。	環境厚生	○		
8	保育所を残してほしいという思いがあるが、住民が納得できるような話し合いにならない。計画により公共施設を整理されると思うが、JR駅周辺とは違い、周辺部はさらに不便になる。どうすればよいか、その方法を教えてほしい。	子どもを増やすことは、行政がどのような施策をとるかにかかっている。それを地域と一緒に考えていくことが必要である。また、地域で課題を共有して、市民力、地域力を上げ、真剣にまちづくりをしていくことが大事である。	環境厚生	○		